

学校教育目標	「社会に貢献するストリートスマートの育成」								
	生徒一人ひとりを大切にし、社会に貢献する人を育てるために ・自尊感情を高める ・豊かな心と健やかな体を育む ・自主自律の精神を身に付ける ・確かな学力を身に付ける 教育を進めます								
学校概要	創立	41年目	学校長	本田 耕平	副校長	中村 顕哉	2 学期制	一般学級: 9	個別支援学級: 3
	児童生徒数:	294	人	主な関係校: 藤の木小学校 南小学校 岡村小学校 山王台小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	藤の木中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自尊感情をもち、よりよい社会の形成に貢献する力 ・望ましい人間関係構築のためのコミュニケーション能力 ・自分のよさや可能性を知り自己実現に向かう力 ・身のまわりや社会の事象に関心をもちよりよく生きようとする力	藤の木小学校 藤の木中学校	自尊感情をもち、よりよい社会の形成に貢献する子ども ・学ぶ意欲をもち、学習の基礎・基本を身に付け、活用できる子ども ・自らを律し、互いの良さを認め合い、協力できる子ども ・集団・社会に貢献しようとする子ども ・アクティブラーニング、ユニバーサルデザインを意識した授業研究会の推進 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施 ・小中合同研修会を活用したカリキュラムマネジメントの推進 ・小中合同学校運営協議会に向けての準備を推進 ・合唱コンクール最優秀クラスの合唱・演奏を小学生に聴かせる機会や、小学生対象の授業体験、部活動体験等の機会の設定

中期取組目標	・生徒と教職員の信頼関係を絶えず築き、生徒一人ひとりを大切に教育活動を推進します。 ・教職員研修の充実を図り、チームワークとコミュニケーションを大切に協働体制を推進します。 ・子どもの交流、小中合同の研究・研修を充実させ、小中一貫カリキュラムのマネジメントに努めます。 ・学校運営協議会を基盤とし、保護者・地域との協働による学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく 知識・技能 担当 学習指導部・教育課程推進委員会	・ICTの活用や、アクティブラーニングの取組を充実させ、意欲的・主体的に取り組む授業の一層の充実を図ります。 ・小学校との連携を基盤に、小中の滑らかな学びの連続性を意識したカリキュラムの充実に努めます。
豊かな心 担当 学習指導部・人権総合国際担当	・人権尊重の精神を共通理解し、誰もが安心して豊かに生活できる学校づくりの実現に努めます。 ・さまざまな場面で生徒の努力や変容を認め、自尊感情の高まりや次の活動の意欲につなげます。
健やかな体 担当 体育科・養護教諭	・健康診断の結果や体力テストの結果を踏まえ、課題を解決していく力を身に付けさせます。 ・学校給食の導入に伴い、食育の視点から教育活動を充実させます。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	・特別支援教室や国際教室と連携を図り、生徒一人ひとりの様子を把握し、一貫した効果的な指導を実践します。 ・特別支援学校のセンター的機能等を活用した校内研修会を開き、充実した支援につなげます。
地域連携 学校運営協議会 担当 生徒指導部・管理職	・小中合同の学校運営協議会を基盤として、保護者・地域、小学校との協働を進めます。 ・学校だより等を通じた情報発信を積極的に行います。
いじめへの対応 担当 生徒指導部	・「居場所づくり」「絆づくり」を通して、生徒の自己有用感を高め、いじめの防止につなげます。 ・年間通して行う「いじめ防止の取組」を「よこはま子ども会議」等と関連付け、いじめの効果的な防止策を充実させます。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部 管理職	・小中合同授業研を通して、カリキュラムの充実・授業力の向上を図ります。 ・メンターチームによる研修を深め、経験の浅い教職員の効果的な力量形成に努めます。 ・職員の健康維持がより充実した教育活動につながるよう、行事の精選・統合、定時退勤日の確保に努めます。

※令和3年度 藤の木中学校 学校評価報告書は、このホームページ内に掲載しています。

藤の木中学校ホームページ > 学校経営 > 学校評価 > 学校評価報告書